

か
わ
じ
ま



議会だより

12月定例会

No.95

平成24年 2月21日

12月定例会審議結果

新年のあいさつ

委員会のうごき

一般質問 町の考え方を問う

1月臨時会の審議結果



川島町の夕焼けと富士山とインターチェンジ

絆を未来との軸に



議長 小高 春雄

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい、新しい年をお迎えのことと存じます。

昨年の世相を表す文字は、大震災があり「絆」という文字が選ばれました。「絆」は、「人と人との断つことのできないつながり」を意味します。過去の人たちの努力の成果が現在の私たちを支え、現在の人たちの努力が、未来の人たちを支えていきます。それが「現在と共に生きる」、また「過去、現在、未来の人をつなぐ」という「絆」となると思います。

そのために、今、私たちは将来のため、また子どもも

たちのために努力しておこうか。古典の言葉に「一年計画ならば穀物を植えるのがいい、十年計画なら樹木を植えるのがいい、終身計画なら人を育てるのがいい」とあります。議会も将来展望を見据え、更に、今年は希望の元年となるよう、町民の皆様の要望をしつかり受け止め、議員全員で努力してまいりたいと存じます。



謹んで新春のお祝詞を申し上げます

「前列右から」

山田 敏夫 議員

佐藤 芳男 議員

尾崎 宗良 議員

森田 敏男 議員

菊地 敏昭 議員

飯野 徹也 議員

小高 春雄 議長

爲水 順二 議員

石川 征郎 副議長

栗岩 輝治 議員

土屋 祥吉 議員

新井 悅子 議員

道祖土 証 議員

吉田 豊子 議員

平成23年 12月定例会議案審議結果

12月の議会定例会が11月30日から12月7日までの会期8日間で行われました。この議会では、平成23年度一般会計補正予算など15議案が審議され、全て原案可決されました。また、一般質問には6人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な内容は次のとおりです。

議案番号	議案名 議案内容	採決結果
議案第53号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第54号	川島町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例を定めることについて 長期継続契約を締結することができる契約を定める必要があるので、条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第55号	川島町税条例等の一部を改正することについて 地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第56号	川島町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正することについて 受給者の負担軽減を図り、医療費の支給方法の一部を変更するため、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第57号	川島町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正することについて 受給者の負担軽減を図り、医療費の支給方法の一部を変更するため、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第58号	彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について 鳩ヶ谷市を廃止し、その区域を川口市に編入したことにより、彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数が減少することについて議決を求めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第59号	平成23年度川島町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出にそれぞれ758万4千円を追加し、総額を64億9,132万7千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第60号	平成23年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出にそれぞれ165万5千円を追加し、総額を24億6,791万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第61号	平成23年度川島町学校給食費特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ81万8千円を追加し、総額を8,861万8千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第62号	平成23年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ20万円を追加し、総額を7億3,841万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第63号	平成23年度川島町介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ1,386万1千円を追加し、総額を13億7,186万1千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第64号	平成23年度川島町水道事業会計補正予算（第2号） 収益的収入及び支出を1万6千円追加し、総額を5億18万5千円とし、資本的収入を3千万円減額し、総額1,390万4千円、資本的支出を3,535万1千円減額し、総額1億1,549万5千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第65号	町道路線の廃止について（町道5481号線外1路線） 町道5481号線外1路線について、有償譲渡に伴う起終点の変更のため、廃止するものです。	全員賛成 原案可決
議案第66号	町道路線の認定について（町道5776号線） 町道5776号線について、有償譲渡に伴う起終点の変更のため、新たに認定するものです。	全員賛成 原案可決
議案第67号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について 鳩ヶ谷市を廃止し、その区域を川口市に編入したことにより、埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数が減少することについて議決を求めるものです。	全員賛成 原案可決

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果（敬称略）

- 管理委員 原 敏三(吹塚65番地) 遠山 良明(角泉162番地) 矢部 勇(平沼555番地) 町田 猛次(曲師722番地)
- 補充員 1位 矢部 春男(三保谷宿271番地) 2位 新井 吉郎(下小見野637番地1) 3位 本間 清(八幡3丁目2番地19)
4位 高野 勝一(上伊草1521番地)

伊草用水路の冠水は飯島排水路の完成後に解消か



撤去される長楽落合橋

●平成23年度一般会計補正予算
(第3号)

問 岁入で、法人税と固定資産税に、かわじま産業団地の分は含まれているのか。

答 課税の基準日が1月1日ですので最近竣工した建物は次年度以降、基準日以前のものは含まれます。

問 歳出で、長楽落合橋の橋脚を

撤去するという事だが、木橋の方策の協議はされたのか。また、再利用はできないのか。

答 荒川上流河川事務所からは、木橋では占用できないとの指導を受けております。また、橋脚は木杭を鉄板とコンクリートで巻いてあり、既に木杭が腐食しております。

再利用は難しいと考えています。

問 長楽落合橋の撤去について、地元にどのような説明をしたのか。

答 地元の区長さんに説明、相談させていただき、8月29日付で回覧しましたが、地域からの問い合わせ等はありませんでした。

問 長楽落合橋に行く坂路は、閉鎖や撤去もありえるか。

答 河川事務所と協議し、利用できるようにしたいと考えています。

問 大雨で上伊草の伊草用水路の何カ所かで道路冠水があるが、地域からの要望はあるか。

答 要望は出ていません。24年度

に飯島排水路が伊草用水路に接続することになつておらず、工事の完成で冠水が解消されると考えています。

●平成23年度川島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

問 岁入で区域外流入分担金の場所はどこか。

答 川島町大字長楽地内です。この付近まで下水道管が布設されています。

問 下水道使用料金の検討は、いつごろ答えを出すのか。

答 平成24年度に基本的な数値を算定したいと考えています。

問 インター内、飯島1号雨水幹線浚渫作業委託料の追加は、この幹線だけで済むのか。

答 飯島1号雨水幹線については、下水道事業の中で対応し、その他水路等については、所管課で対応することになると思います。産業団地の中の道路・水路、インター

一それぞれ所管で持つておりますが、関係機関と調整し環境美化を図つていきたいと考えています。



飯島排水 I C付近

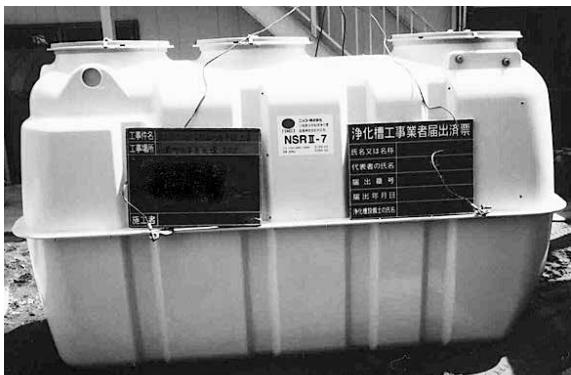
と単価は。
答 面積約24平方メートルで、単価は土地利用検討委員会で税金での課税評価額で決定し、面積に単価を乗じた額となります。

●町道路線の廃止について(町道5481号線外1路線)

問 有償譲渡ということだが面積

被災者の小学生、福島に戻る

委員会のうごき



合併処理浄化槽の更なる普及を

●川島町ひとり親家庭等の医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

問 町内のひとり親家庭の数と医療費はどのくらいか。
答 10月末現在で1113世帯、医療費は10月末までで167万円です。

●川島町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

答 年度予算で4955万4千円です。

●平成23年度川島町一般会計補正予算(第3号)

●平成23年度川島町一般会計補正予算(第3号)

問 東日本大震災の被災地から川島町に小中学生は何人来ているか。
答 福島県から3月に転入した児童1人が、出丸小学校6年に在籍していましたが、8月に福島県に戻りました。給食費等は町が全額負担しています。

問 被災者の1世帯4人は、川島町の住民として住んでいるのか。
答 川島町に住所は定めています。

問 さわやか相談員事業費補助金を更正減する理由は。
答 県費補助金の補助割合が対象経費の3分の2から10分の6に変

答 対象人数と現在の医療費は、身体障がい者445人、知的障がい者が97人です。給付額は、平成23年度予算で4955万4千円です。

問 衛生費県補助金追加で、合併処理浄化槽の普及率を今後、更に普及する考えはあるか。

答 今後も県からの補助は見込まれるので、町も普及率100%へ進められるのが、課題等もありますが現状では良いと思います。

問 自殺対策緊急強化基金補助金の更正減7万4千円の理由は。
答 自殺対策事業として、当初はリーフレットを全戸配布する計画が、自殺予防講演会とリーフレット作成に変更したためです。

問 私立幼稚園特別支援教育推進費補助金の増額補正の理由は。
答 町内私立幼稚園が行う特別支援教育を支援するため、対象経費と県補助金の差額を補助します。

問 年金生活の高齢者の高額な入院費の減免制度はないのか。

答 医療費の減免は、高額医療

問 現在の児童生徒数と給食センターの職員の数は。
答 児童が1124人、生徒567人、職員は小学校が115人、中学校51人、給食センター職員は県の栄養士含めて、合計18人です。

問 別会計補正予算(第1号)

問 年金生活の高齢者の高額な入院費の減免制度はないのか。

答 医療費の減免は、高額医療



自殺対策のリーフレット

町の考え方を問う

町政一般質問要旨

12月6日、7日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

栗岩 輝治 議員

- ・町内の放射能汚染と今後の取り組みについて
- ・TPPの町の対応について

新井 悅子 議員

- ・子宮頸がん検診でのHPV検査の導入について
- ・乳がん検診の意識向上を啓発するツールについて
- ・AED(自動体外式除細動器)について

飯野 徹也 議員

- ・町の「食育」に対する考え方と取り組みについて

道祖土 証 議員

- ・町のホームページについて
- ・町の観光施策について
- ・新庁舎建設について

菊地 敏昭 議員

- ・地域防災計画の見直しについて
- ・合併処理浄化槽について
- ・空き家の適正管理について

土屋 祥吉 議員

- ・健康診断とその対処について
- ・幼稚園及び保育園の運営と児童教育について



**放射線線量計の購入と
食材の測定が必要では**

**答 線量計購入と食材測定
は予定していません**

くり いわ てる じ
栗 岩 輝 治

問 日本共産党川島支部の独自調査では、基準値を越す放射線量が検出され、除染の対応策が必要と考えるが、町の対応を伺います。また、学校や幼稚園への放射線測定器の購入配置や、学校給食の食材について測定の考えはあるか。

答 町の検査では、国や県が定める基準値を超えるような高い数値は計測されておりませんので、新たな測定器を購入する状況ないと考えております。測定の希望があるので、新たな測定器を購入する状況になると考へます。また、測定値の違いは測定器材のメーカーも違うため近似値では誤差が出ることもあります。除染についてには職員が出向き測定いたします。

問 TPPの導入で、町の農業が成り立たないことが十分考えられます。既に先取りかと思われる小麦の買取り価格の暴落で、1kgあたり4円となっています。町としての対応は。

答 基本的には、TPPの参加には賛成する立場でない考え方です。また、日本が加入に対する条件面が不透明な状況なので、現時点での当町への影響の答えは難しい状況です。なお、田で小麦を作付けた場合は、戸別所得補償制度で10ヶ当たり3万5千円の国の補助金が出てきます。



西中学校で放射線量測定

いっぽん質問



子宮頸がんの予防案内



答

問

子宮頸がんHPV検査とワクチンは

ワクチンは

現行検査とワクチンは継続

新井悦子

子宮頸がん検診に併用して、子宮頸がん細胞内のHPV遺伝子、DNAの有無を調べる検査をするHPV検査を加えることにより、検診精度が高くなり、費用負担も大きくないため導入すべきと思うが町の見解は。また、予防ワクチンの国補助がないが、町として今後の考えは。

答 平成22年度から国際分類の「ベセダシステム」に基づき行っています。HPV感染の有無を重視し、少しでも異変がある場合に精密検査を行い、次に何の検査をするか明確になっていますのでこの検査を行い精度向上を図っています。予防ワクチンは公約の一つとして開始した施設です。平成24年度以降、国からの補助がなくとも子宮がん撲滅のため補助事業を継続してまいります。

問 若いうちから検診への意識を持つことが大切なことで、乳がん検診の意識向上を啓発するためのツールとして、自己検査できるチエリーグローブを成人式等で配布してはどうか。

答 医療器具としては認定されていないので慎重な考え方ですが、今後も自己検診の啓発に努めてまいります。

問 AEDについて、町職員、教職員に定期的に講習を実施しているか。また、設置場所と取扱方法の周知は、町のホームページ、広報に掲載しています。管理は設置要綱に基づいておりま

す。また、求められている基本計画の策定にいかなる対応を考えているか。

答 町では、国や県の食育基本計画に沿って、事業に取り組んでいます。独自の基本計画については、その必要性も含め検討していきます。

問 講習は各学校に応急手当普及員を配置し最低年1回実施しています。また、設置場所、取扱方法の周知は、町のホームページ、広報に掲載しています。管理は設置要綱に基づいておりま

す。国は平成17年に食育基本法を定め、食育が人の生きる上での基本であり、知育・德育・体育の基礎となるものとして、その理念を明確にしました。さらに法では施策の総合的な推進を図るため、国・地方公共団体に対し、食育推進計画の策定を求めています。町では、食育に対して、どのような認識評価をしているのか、

また、求められている基本計画の策定にいかなる対応を考えているか。



整備が急がれる幹部屋前交差点

町道1-23号線未整備区間の工事を早急に

答 来年度から着手し、27年度の完成を図りたい

いいの野徹也

問 旧県道平沼中老袋線の三保谷公民館から役場までの区間町道1-23号線と、吉原地区4430号線と、2-7号線の交差点の整備見通しは。

答 役場前から公民館の区間は24年度用地取得を始め25年度から27年度で工事を、吉原地区交差点改良は来年度調査を実施し早ければ一部工事にかかりたいと考えていますが、地元の協力もお願いしたいと思います。

問 町の観光施策の現状と、今後のかかる施策の展開を考えているのか。振興計画に「自然と環境の保全を進めめる町」とあるが、具体的な施策は、の創出、環境整備などを図り、コーズとして回れるネットワーク化を図ります。また県の事業を取り入れ、長楽用水の整備を推進し、ホテルの飛び交う清流として名所にできればと考えています。





平成22年
耐震改修工事完了の県庁舎



答

問

県庁のような 耐震補強の考えは

道 祖 土 証

問 庁舎建設基金は、町長が就任した平成14年度に約8億35万円。平成21年度までで約8億1千万円。平成23年度決算では約11億1千3百万円になる事が予想される。また、平成19年2月の庁舎建設検討委員会で耐震補強をしても10年しか持たない事や、水害対応として3階建の案が出され、また、平成21年の地区懇談会で新庁舎建設の予算は、との問い合わせに町長は西区役所のような事務所であれば9億円程度と考えますと発言

し、平成22年度の施政方針で、合併60周年の平成26年度を目途に建設を進めると発言しています。そこで、現在までの庁舎建設に至るまでの考え方と、今後の進め方は。

答 昭和63年に基金を設置し、その後、耐震診断結果を受け、平成18年庁舎建設検討委員会を設置し協議の結果、新庁舎建設を前向きに取り組む必要があるとの回答があり、平成23年3月、新庁舎建設基本構想を策定しました。この度の震災以降、防災拠点として町民の命と情報を守る庁舎建設が責務だと認識しています。

問 建設予算が約8億円から約20億円へ変わった理由は。

答 上乗せしていくべきこととも考えられるということですが、現時点では決定していません。

問 県庁の本庁舎は、耐震補強工事を行つたが町としての考えは。

答 耐震補強についても検討はしましたが、県庁の建物とは構造が違うため比較できないと考えております。



問

地域防災計画の見直しは

答

I・C管理道、高層ビル はお願いしていきます

きくちとしあき
菊地敏昭

答 問 災害用備蓄品の見直しは。現在、町防災倉庫を建設しております、災害用資機材、備蓄品を計画的に整備してまいります。また、飲料水については、災害後3日間は一日

お願いしてまいります。

答 問 地域防災計画の見直しと対策は、圈央道インター・エンジの法面の避難場所の指定は現時点では難しが、管理用道路があるので避難してきた人がいた場合には緊急避難として受け入れ可能とのことです。また、高台避難場所としてかわじま産業団地内の高層ビルについても避難ビルとして、ご協力いただけるようお願いしてまいります。



防災倉庫（平沼地内）

問 川島町空き家等の適正管理に関する条例に基づいての把握や対処は、この条例は、空き家等が放置され管理不全になることを防止し安全安心の確保が目的です。10月末現在54件で、1件ごとに調査し所有者等の意向に沿って空き家バンクに登録をしていただき推進してまいります。

答 この条例は、空き家等が放置され管理不全になることを防止し安全安心の確保が目的です。10月末現在54件で、1件ごとに調査し所有者等の意向に沿って空き家バンクに登録を行っています。

いっぽん質問



生活習慣病改善のための教室



答

問

町立幼稚園の延長保育は

預り保育の内容について検討

土屋祥吉

町検診の血液検査の結果に対し、どのように対処しているか。

答

健診結果説明会を複数日設定し、危険度により三段階に分け、継続的に生活習慣改善のための教室を実施しております。

問

がんに対して、各部位ごとの血液検査を実施できないか。

答

腫瘍マーカーにつきましては厚生労働省の推奨グレード五段階のうち五番目で、厚生省のガイドラインに従い見送つてきましたが、前立腺がんについては発見率が高いことか

ら、この検査の実施について検討を進めています。

血液検査により、腎臓障害の予知も可能かと思いますが、今後どのように対処するのか。

答 現在、検査項目に入れてあります

が、さらに精度を高め、腎臓機能の残存指數がわかる検査項目の、実施をできないか検討しております。

問 幼稚園、保育園の保護者に対してアンケートを実施しているが、これらを踏まえ、今後の運営をどのように進めるのか。

答 幼児期の教育は、人格形成の基

礎を培う重要なものであり、幼稚園は心身の発達を助長せる場である

ことから、町の幼児期の状況を総体

検討していきたいと考えています。

答 問 幼稚園の延長保育は可能か。

延長保育については、年々ニーズが高まっています。今後幼稚園教育要領を踏まえながら、内容の検討を行ないます。

一部事務組合議会からの報告

定例会は、8月30日の会期1日間で開かれました。
23年度一般会計補正予算について審議し、22年度決算の確定により、歳入に繰越金191万8千円を追加し、歳出は同額を予備費とし、総額1億341万8千円となりました。次に、23年度斎場及び靈きゆう自動車事業特別会計補正予算について審議し、22年度決算の確定により、歳入に繰越金492万6千円を追加し、歳出は斎場施設積立基金費に40万円、残りを2万6千円を追加し、歳出は斎場施設積立基金費に40万円、残りを54万9千円としました。いずれの議案も認定されました。なお、消防に関する議案は当町は関係しませんので省略いたします。

比企広域市町村圏組合議会

小高 春雄
佐藤 芳男

川越地区消防組合議会

森田 敏男
道祖士 証
爲水 順二
(佐藤)

定例会は、9月27日の会期1日間で開かれました。

平成22年度川越地区消防組合

一般会計歳入歳出決算認定について

審議し、歳入予算現額48億712

9万5千円、歳入について、調定額が48億5363万3953円、

収入済額が48億5269万595

3円、収入未済額が93万8千円です。歳出は、支出済額が48億40

31万3951円、不用額が30

98万1049円となり、歳入歳

出差引額は1238万2002円

となりました。また、審議の中で置状況は、との質疑に対し、当消防組合の事業所等に、203施設平成23年8月末現在のAEDの設置状況は、川越市管内が145事業所214台。管内各事業所の設置状況は、川越市管内が145事業所172台、川島町管内が11事業所22台、管内合計は408台です、との答弁がありました。採決の結果、平成22年度川越地区消防組合会計歳入歳出決算を認定することに決定いたしました。

(森田)

議会運営委員会所管事務調査



静岡県吉田町役場前

吉田町は、静岡県の中部で、大井川の河口の西側に位置し、駿河湾に面した自然環境に恵まれた町です。昭和44年、東名高速道路吉田I・Cの開設を機に、産業や生活環境が大きく変化しました。また、平成21年6月には、牧之原市と島田市の間に「富士山静岡空港」が開港し、更なる発展が見込まれています。また、浜岡原子力発電所から20km圏内にあり大変に危機感を持っていました。

町の面積は20・8km²、人口3万5百人、9千6百世帯で明治12年以来合併せず、昭和24年に町に名称を変えたのみで、人口は昭和60年から32%も増加しています。財政規模は、平成23年度の一般会計予算で89億5千万円、特別会計の合計が54億9千500万円です。議員定数は13人で常任委員会は3委員会、特別委員会は3委員会となっています。

吉田町の議会活性化の取組みは、①町民と議会のかかわり、②執行機

吉田町は、静岡県の中部で、大井川の河口の西側に位置し、駿河湾に面した自然環境に恵まれた町です。昭和44年、東名高速道路吉田I・Cの開設を機に、産業や生活環境が大きく変化しました。また、平成21年6月には、牧之原市と島田市の間に「富士山静岡空港」が開港し、更なる発展が見込まれています。また、浜岡原子力発電所から20km圏内にあり大変に危機感を持っていました。

町の面積は20・8km²、人口3万5百人、9千6百世帯で明治12年以来合併せず、昭和24年に町に名称を変えたのみで、人口は昭和60年から32%も増加しています。財政規模は、平成23年度の一般会計予算で89億5千万円、特別会計の合計が54億9千500万円です。議員定数は13人で常任委員会は3委員会、特別委員会は3委員会となっています。

吉田町の議会活性化の取組みは、①町民と議会のかかわり、②執行機

1. 調査期間
平成23年10月18日～19日
2. 観察地
静岡県吉田町、山梨県富士河口湖町
3. 観察課題
議会活性化について

小尾 土栗 吉飯 菊
高崎 屋岩 野地
春宗 祥輝 豊徹 敏
雄良 吉治 子也 昭

関と議会のかかわり、③議会の運営、と3つのキーワードに分類し、方策を順次まとめ、更に見直しを進めて主なものは出前会議、議会報告会のお知らせ版の全戸配布、議会シンポジウムの実施などです。調査研修では、2回の無投票選挙によるその後の議会改革の取り組みを研修してきました。町民の意向をどう生かすかが大事な課題です。

次に、山梨県富士河口湖町ですが、面積は158・5km²、人口2万6千人、9千3百世帯で平成15年、18年に合併しています。日本のシンボルである富士の山麓に位置し、高原のため冬期の冷え込みは厳しいが、夏は過ごし易く国内外から年間1千2百万人が訪れる国際観光町です。平成23年度の一般会計予算は、106億1千万円、特別会計の合計72億8千万円です。議員定数は18人で常任委員会4、特別委員会が1委員会となっています。「議会の透明性を図る」ということで、会期中の本議会の全てをケーブルテレビにて生放送され、費用は全て放送会社の好意により無償で各家庭に配信され町負担

「議員の複数常任委員会への所属制限の廃止」がされ、複数常任委員会への所属が検討され2倍の12人で構成し、議論が活発になつたとのことです。調査をして、町民の意向に真剣に取組んでいたと感じました。今後、町議会も活性化の協議を重ねてまいります。



富士河口湖町議会議場

埼玉県町村議会議員研修

・研修日……………平成23年10月14日
 ・講演……………東日本大震災の教訓を生かして
 一般社団法人減災・復興支援機構
 専務理事 宮下加奈氏



講師 宮下 加奈 氏

時のボランティア活動等、実践の中から生まれた改善すべき数多くの細かな点と対策、予防事例を示した講演でした。起こらないでほしい、と願う災害ですが、一端災害が発生した時点の学習という事で、今までの講演とは違った、実質体験に基づく形での有意義な研修会でした。

平成23年度埼玉県町村議会議員研修会が、10月14日吉見町町民会館「フレサよしみ」にて行われました。演題は、東日本大震災を受けて「災害と地域の力」というものでした。講師は社団法人減災復興支援機構の専務理事、宮下加奈氏でありました。

3月11日の東日本大震災直後で、その内容も災害に関係する講演との事もあり、会場内は緊張感があり、少しでも多くの事例を研修し持ち帰ろうという雰囲気でした。

宮下氏は、三宅島に生まれ、1982年に二度の噴火を経験し、溶岩流で自宅が埋没して避難所及び仮設住宅での暮らしを自ら体験しました。その後、全島避難をされ、それを活かしての、避難所の運営、災害

1月24日に臨時会が開催され、報告1件、議案2件が提案審議されました。主な内容は次のとおりです。

専決処分

■専決処分の承認を求めるることに
ついて（川島町税条例の一部を改
正する条例）

地方税法等の一部を改正する法律等が平成23年12月14日に公布されたことに伴い、川島町税条例の一部を改正する条例を専決処分したものです。（全員賛成、承認）

■平成23年度川島町一般会計補正
予算（第4号）

補正予算

歳入歳出	それぞれ	2714万5千円	を追加し、総額を歳入歳出それぞれ65億1847万2千円とする	
金繰入金	1418万2千円、諸収入の（財）埼玉県市町村振興協会市町村交付金追加	1277万4千円	などの追加です。	
歳出の主なものは、民生費の新設放課後児童クラブ施設設置工事	598万5千円、衛生費の石綿管撤去等工事	410万円、さいたま環境整備事業推進積立金共同撤去事業負担金	843万7千円、農林水産業費の鳥羽井沼法面補修工事450万円、教育費の小見野小学校特別支援教室設置工事	340万円、などを追加補正するものです。

（全員賛成、可決）

議会広報研修会

年に2回埼玉県町村議会議長会

主催の議会広報研修会が開催されます。今年度、第2回の研修会が

講師に埼玉県コミュニケーションセンターの芳野政明氏を迎えて埼玉県県民健康センターで開催され、川島議会から議会報編集委員全員で参加しました。

研修の主な内容は、1つ目に発

行目的にそつた企画・編集になっているか、2つ目に読みやすさ、わかり易さなど編集技術について

でした。

川島町議会だよりへの皆様の意見をお聞かせください。今後の議会だより編集の参考に致します。

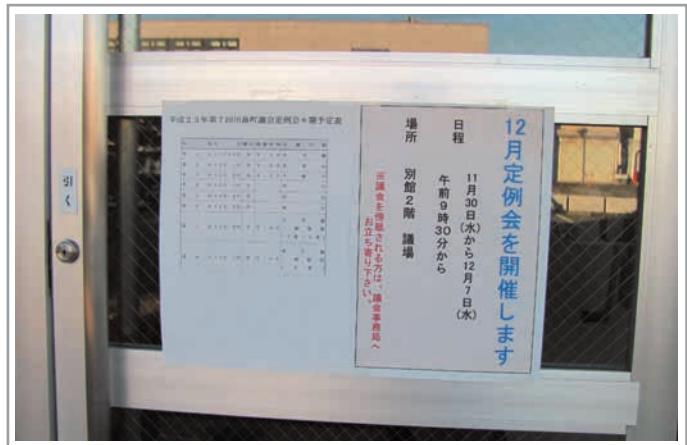
（佐藤）

議会日誌

11月

- 18日 議会広報研修会
22日 議会運営委員会
議員全員協議会
23日 第26回川島町農業商工祭

◎役場別館入口にて、定例会の開催予定や会期予定表を掲示しています。



12月

- 30～7日 12月定例会
1日 議会運営委員会協議会
7日 議員全員協議会
議会報編集委員会

1月

- 4日 仕事始め
8日 成人式
12日 議会報編集委員会
24日 1月臨時会
町内企業研修

2月

- 1日 比企郡町村議会議員研修会
10日 議員研修

3月の定例会は
3月1日(木)
開催予定です。

●定例会の開催予定や議会だよりは、川島町のホームページでもご覧いただけます。

①▶ [川島町ホームページ](http://www.town.kawajima.saitama.jp/) から ②⇒▶ **議会**
<http://www.town.kawajima.saitama.jp/>



給食センター西側200m位の場所より、夕焼けの川島ICの照明と圏央道と富士山の夜景です。平成20年3月にICが供用開始し、平成22年3月に桶川北本ICまで延伸開通しました。平成24年度東北道までの開通予定は遅れていますが、地域の発展は着々と進んでいる様子です。
昨年は3月11日の大震災によって大変な1年でした。1日も早い復興復旧を願い、被災された皆様にお見舞い申し上げます。
今年は、明るい年となりますよう、町と町民の皆様の夢が叶いますように祈念申し上げます。
(菊地)

表紙解説

2012年辰年がスタートしました。

元初の太陽が勢い良く昇る朝、皆様が健康で豊かな日々が送れますよう願いました。

昨年は日本中で災害が起きた1年でした。自然災害は、私達に多くの教訓と、平凡に生きることの大しさを教えてくれました。

川島町も、1月8日に成人式が行われました。新成人の方々の晴れやかな笑顔に本年1年が平穏で実り多い年になりますことを御祈念申し上げます。

議会だより編集委員として、皆様に愛読されるよう努めてまいります。
(記 新井)

相談役 委員長 副委員長
小新栗飯菊佐石川
高井岩野地藤川
春悦輝徹敏芳征郎
雄子治也昭男郎

議会だより編集委員会

編集後記